ご挨拶

平素より、弊社にご支援を賜り大変ありがとうございます。

弊社は、2020 年に RJC（＊）から Code of Practices の 認証を取得しました。

認証を取得後、再生地金の使用、再生エネルギーの利用、地域活動への貢献など、グローバル企業の 1 社として持続可能な未来をつくるために、日々努力を行っております。

また、2023 年から、2025 年秋の完成を目指し、環境に配慮した本社の建設に着手しました。

RJC 認証取得企業として、私共は「100 年企業」を目指して、鋭意努力して参りたいと考えております。

＊RJC とは、Responsible Jewellery Council（責任あるジュエリー協議会）の略で、ロンドンに本部を置いる宝飾品および時計業界向けのグローバルな持続可能性の基準を設定している組織です。日本では、当社を含め 7 社が認証を取得しています。

2024 年 2 月

中川 雄幸

持続可能な未来への取組

1．基本方針

企業行動指針に掲げています【社是】【基本方針】【行動基準】を遵守することで、持続可能な未来への取組への責任を果たして参ります。

2．コンプライアンス

持続可能な未来への取組の最重要課題としてコンプライアンスを位置づけ、次の事を柱に取組んで参りました。

- リスクアセスメント実施によるリスク事案の削減
- ハラスメント事案の撲滅

リスクアセスメントでは、常に、雇用関係、KYC、贈収賄など業務に潜んでいる法令違反のリスクの洗い出しを行い、法令違反につながる事項の潰しこみを行って参りました。

2023 年のリスクアセスメントは、2024 年 1 月にマネージメントレビューを実施しており、コンプライアンス違反となる事案、ハラスメント事案は無かったことを確認しています。

2024 年は、2023 年のリスクアセスメント項目に加え、店舗等の防犯体制の見直しなどを含め拠点のリスクの洗い出しに注力し、犯罪組織に狙われない運営の強化に努めてまいります。

3．お取引先との関係

円安及びエネルギー高を起因とする物価上昇に伴い、厳しい経営を強いられているお取引先が増加しています。

また、後継者難から、事業の継続に苦慮しているお取引先からの相談が増えてきました。

弊社では、自社の強みである「小回りの利く」対応により、お取引先のご要望、ご相談に真摯に対応することで、お取引先と一緒に厳しい経営環境を乗り越えるように努めています。

4．株主との関係

長期的な視点に立った株主への還元を目指し、事業再編を行っております。2021 年に、株主の集約、企業規模に見合った資本金に減資を行い、現在は、将来を見据え、グループ会社間で資産の入替を含めた事業の再編の検討を行っています。

事業再編は、株主方の安定した株保有につながり、「100 年企業」の土台になると考えています。

5．地域への貢献

2023 年の各拠点の主な地域貢献活動は次の通りです。

【本社】

- 地域への配慮及び環境への配慮した本社を目指し、本社の建替えに着手しました。

【北上工場】

- 工業団地への貢献活動の一環として、年間 7 回の工場外周の清掃活動を実施（参加者は延べ 135 名）







- 赤い羽根共同募金（日本赤十字社岩手県支部）、緑の羽根募金（公益社団法人岩手県緑化推進委員会）に参加
- 北上みちのく芸能祭り、伊勢神社例大祭などの地域のお祭り、祭礼などへの寄付

【筑波工場】

- 工業団地への貢献活動の一環として、11 月に工場外周の清掃活動を実施
- 7 月と 12 月に工業団地内の違法駐車車両撲滅のためのパトロールを実施

● 日本赤十字社への募金、赤い羽根共同募金への寄付
● 阿見町社会福祉協議会、阿見町国際交流協会など地域活動への協力金
● あみさくらまつり 2023、あみ商工まつり 2023 など地域のお祭りへの協賛金

【御徒町支店】
● 6 月、10 月、12 月に実施された地域と警察署が協働して行った地域の防犯パトロールに参加

【伊勢営業所】
● 毎月、地域の消防団活動に参加
● ごみ集積所の清掃活動を 年 4 回実施
● 赤い羽根共同募金（社会福祉法人三重県共同募金会）に参加

【甲府支店】
● 大雪時の会社近隣の公道の雪かきを実施

【大阪支店】
● 南久宝寺町二丁目復興町会の年末防犯パトロールに参加

【名古屋営業所】
● 定期的な入居オフィス前の清掃活動の実施
● 大須商店街の清掃(ゴミ拾い)活動への参加（毎月）
● ナゴヤ防災サミット 2023 に参加（年 4 回）

6．従業員との関係

2023 年は、人事労務の施策として次のことを行いました。

● 新しい人事考課制度及び目標成果管理制度を開始
● 政府方針にもとづく、大手企業並みの賃上げを実施

新しい人事考課制度及び目標成果管理制度が始まったことにより、今まで以上に公正な人事評価による人事制度の運用を行えるようになっています。

2024 年は、大企業を中心とする初任給の上昇、政府要請の賃上げなどへの対応、「100 年企業」を目指した基盤強化等の目的から、外部の専門家の協力を得て、人事制度の改善を行います。

今回の改善により、更なる公正な人事制度の構築が図れると考えております。

7．地球環境保全

北上工場で導入した太陽光発電は、安定して稼働しており、天候の影響は受けますが、電気の使用量は年平均で 16%程度の削減に寄与しています。

北上工場、筑波工場では、地域の排水基準に抵触しないように、常に排水を監視し、また、外部の業者に委託し、定期的に排水の検査を行っています。

また、2022 年に検討を始めたエコアクション 21 は、引き続き、参加する方向で体制づくりなどの準備を行っています。

8．責任ある鉱物管理

金などの地金の購入は、コンフリクトミネラル調査を実施し、
OECD Annex II のガイドラインに準拠した先からの購入に限定し
ています。
2023 年につきましては、特段、問題のある仕入先はありませんで
した。

2024 年 2 月